



全国の会員の皆様、昨年より会長職を仰せつかっております小堤幸雄(ごつみゆきお)でございます。平成25年の年頭にあたり、ご挨拶をさせて頂きます。

平成不況という言葉が言われるようになってから20年が経とうとしています。

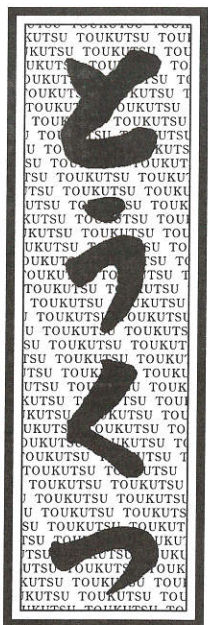
その間に追い打ちをかけるようにリーマン・ショックなどがあり、私達をとりまく経営環境は厳しさを緩めることなく今日まで続いて参りました。しかしながら、観点を変えてみると環境が生温くないからこそ人間は努力して新たな道を模索し、切り開いてきたのではないのでしょうか。

皆様にとりまして本年を光り輝く年にする為に、明るい未来を描き創造して参りましょう。

日本靴小売商連盟ではシュ

年頭所感

日本靴小売商連盟
社団法人東靴協会
会長 小堤 幸雄



東靴協会
機関紙
千代田区鍛冶町1-6-17
〒101-0044 ☎(3252) 5656
(1月号)



皆様おすむけに迎春
お迎えのとお喜びの年です
昨年は何となくお疲れの年
今年もどうぞよろしくお願い申し上げます
平成二十五年元旦



フィッターの養成を開始して四半世紀を超え、全国で4,500名近くの既得者を輩出してまいりました。また、単に養成だけに留まらず、定期的に既得者勉強会・通信教育などを通してスキルアップの為に再教育をしております。特に最近では既得者勉強会への参加者が増加傾向にあります。シュフィッターの資格をとただけでなく更に研鑽を積もうという方々が増えていくからだと思います。

これら事業を通してお客様へのサービスを更に充実できるように皆様のお手伝いをして行きたいと思っております。

以前、といつても30年以上前のことですが、あるセミナーにて「人が幸せになるには信仰と希望と愛だ」と聞いたことがあります。

信仰とは宗教だけを指すのではなく、自分が打ち込める仕事や趣味も含めてだと思えます。これが出来れば喜んでもらえるのではないかと、自分が成し遂げたことなど様々あると思います。希望は明るい未来を創り上げることに對する情熱。

何か良いことが起きるワクワク感かもしれません。

愛は人を慈しむ心だと解釈しております。

お客様を慈しむ心が顧客の和を広げていくのではないのでしょうか。

是非ともお客様との楽しい会話や趣味に加えて靴選び談義などで喜んで頂けるよう努力して下さい。

私の会社で取引をさせて頂いている金融関係のモットーが「お客様の歓びを私達の歓びとして」というものです。

職員皆様の顧客に対する接遇は明るく力強さを感じます。素晴らしいですね。全スタッフが

シュフィッターの皆様へ
住所・勤務先等変更が生じた時は必ず協会までご連絡をお願いします

このような気持ちを持ってお客様と接しているならば、接客だけでなく品揃え、ディスプレイにも磨きがかかっているのではないのでしょうか。

足は体重のバランスをとったり、歩くことによるミルキンゲアクションで血流を助ける働きをします。

一歩二歩歩く度に皆様の体重を全て支えているのです。足裏は全体重以上の重さを支えてくれているのです。

靴はその足を保護するだけでなく楽な歩行を助ける為に存在していると言っても過言ではありません。

身につけるものの中で靴は一番重要な身の回り品だと思います。それほど大切で重要な商品を皆様は扱っているのですから、自信を持って輝ける将来を夢みて頑張りたいと思います。

私は昔から何となく心に浮かぶ文章があります。

「六十の若人、二十歳の老人」：肉体的には私も六十の半ばになります。しかし考え方が若ければ、それは若人と言えるのではないのでしょうか！

逆に肉体は若くても考え方に若さがなければ老人と同じではないのでしょうか。

皆様には若々しくチャレンジ精神旺盛で生きて欲しいと思います。

「生きる」では無く「活きる」で人生を謳歌しましょう。

人生を謳歌している人に周りの人は集まってきます。

工場見学研修会参加者募集

開催日時
：平成25年2月14日・木曜日
募集人数
：先着15名
会費
：2000円
申し込み
：協会事務局まで
☎03-3252-5656

行程
午前9時：神田東靴協会集合→
9:45ヒロカワ製靴見学→12時、
都立城東職業能力開発センター
台東分校着昼食(協会準備)同
校くつ科見学→14:45移動→
15:15シャミオール工場見学→
17:30見学終了帰路

人生を楽しむ、そして靴選びの楽しさをお客様に伝えていきたいと思います。

日本靴小売商連盟では、(社)日本皮革産業連合会はじめ関係団体のご協力を得ながら、教育事業等のお手伝いのできるよう準備をしております。そのためにご参加頂ける店舗・会社を増やしたいと考えております。まずはシュフィッターからですが…

是非とも積極的なご参加を希望致します。

本年もご支援ご協力のほどお願い申し上げます。

シューフィッター 既得者勉強会開催

平成24年12月13日午前10時より当協会に西村記念ホールにおいて、39名が参加して、シューフィッター 既得者勉強会が開催された。

講師には日本靴小売商連盟講師の鈴木信行氏が担当し「革靴の知識・パッキングワーク」の演題で行った。更新の条件にもなっている、この勉強会に参加者の熱意を感じた。

はじめに小堤会長より「不況の影響もあるが、仕事が少な



くなつてきている。一因にロボットの進出も挙げられるが、人間にしか出来ない、人間だから出来ることもある。本日のシューフィッターの技術はまさにそのことで、本当のプロを目指し、学んでいただき、実践の販売はもちろんだ、部下の教育にも役立ててください。」と挨拶した。

鈴木講師本人の自己紹介から始まり、人間らしい別の側面を感じ印象的だった。

講義はまず、シューフィッターの基礎知識をテキストを元に

復習することからスタートした。

アジャストメント(調整)にはストレッチとパッキングがありストレッチはきつい(当たる)部分を伸ばしたり柔らかくすることだが、「当たる箇所を伸ばすとは限らない。」など解説。

パッキングの基本的な考えは、左右差をなくしたり部分的な調整で足に合うようにすることだが、歩き方や歩行音を聞いたりお客様の声を聞きながら判断し調整する。この場合どこをどのように調整したかを説明し、同意を得ることが重要だ。



使用するパットは、中足骨パット・アーチパットその他各種があるが、それぞれの使用方法の説明がなされた。

特に足のアーチ(内アーチ・外アーチ・横アーチ)を考慮し効果的にパッキングを行うことが大切だ。と説明。引き続き、グループに分かれフットプリンターを使つての実習に移った。

プリンターにインクを塗り用紙をセット。足はゆつくりと乗せ重心を左右にかけた状態で外郭線を取り、各頂点(第1趾第2趾ほか)をマークする。

用紙に描かれた足形から、各アーチの状況は?、タコやマメは?五本の趾の跡から開張足では?など診断できる。その結果、何のパットをどの位置に入れるかなどを説明した。実際に自分の足に中足骨パットをセットして重心を掛け効果を体験するなど熱心に勉強をしていた。

最後に、足の形も時代とともに変化し、20年前の統計調査を元に比較し、身長は大き



な変化は無かったが、足長は長くなっている。更に開張足、薄い足、横アーチが低いなど変化について説明があった。

パッキングワークは最初から合っていない靴を調整して売るためではなく、調整により更に足にあわせ履き心地をあげる技術だ。この技術を武器に販売に役立てていただき、お客様をファンにしていってください。と結んだ。

新年交礼会開催

恒例の新年交礼会が、一月七日午後一時半より東靴協会展西村記念ホールで、20名が参加して行われた。

小堤会長より「株価上昇、円安などなど、景気回復の兆しも見えてきましたが、すぐ我々の営業に反映することは少ないのでは、むしろ近くの顧客に目をむけ顧客のためのサービス・満足に力を入れていくことが売上向上に結びつく方法ではないでしょうか。また、今年は一般社団法人化に向けて動き出します。皆様に更に役に立つ協会として努力してまいります。内容は機関紙等を通してお知らせいたします。更に、今後工場見学、親和会総会、勉強会など事業の予定も立てております。是非本年も皆様のご協力をお願い申し上げます。」

生命共済会募集

安い掛け金で
大きな保障

東靴協会の団体生命保険は75歳まで加入できます。是非ご加入下さい。

お問い合わせ申込みは事務局迄
☎(3252)5656

げます。」と挨拶。続いて中村久男前会長の発声で乾杯に移った。和氣譚々のうち、年末年始の景況など話が弾んだ。新年もショップ・ピングセンターなど元旦から営業する店舗が増え集客力のある施設や盛り場はかなりの人出で賑わったようだ。

矢代裕夫副会長の中締めで、今年の交例会は終了した。



売上高ランキング

フットウェア・プレス1月号に
13年版売上高ランキングが掲
載された。

靴小売、靴卸、靴メーカー、
バッグ小売、バッグ卸製造、資材
の6つの業態分類で

各上位50社が発表された。
ここに靴小売業の一部を抜粋し
て掲載する。(別表)

〔全体傾向〕

6つの業態の総売り上げ高は
1兆8100億円、前年比3.
2%と伸びた。

業種別では、もともと伸ばし
たのはバッグ小売で、前期比6.
3%増、以下バッグ卸製造5.
0%増、靴小売4.3%増、靴卸
3.1%増、資材1.1%増、靴
製造0.1%増でいずれも前期
を上回った。決算の関係で11年
3月の東日本大震災の影響が
あった期になる企業が多いが、
総合の数字で見る限り、震災
の打撃はクリアしている。

上位50社中、靴小売で19
社、靴卸・製造では各21社が前
期割れとなった。

依然としてデフレが続く中
で、商品単価のダウンは大手、
中小の規模に関係なく売上が
減少しているところが多い。

〔靴小売〕

大手チェーンが シェアを伸ばす

上位50社の合計売上は52
00億円で前期比4.2%増加
した。前期を上回った企業は28

社、下がった企業は19社だった。
大手チェーン3社の合計売上
高は3200億円、前期比6.
0%と、50社平均の伸び率を
上回っている。上位企業で2桁
の伸びを見せたのは3位のジー
フィット。イオングループのマイカ
ル直営靴売り場を「グリーン
ボックス」として出店するなど、
店舗が84店増えたことで、売
上を大きく伸ばした。今期は

(別表)

順位	社名	決算期 (年・月)	売上高 (百万)	増減率 前期比(%)	純利益 (百万)	店舗数 (期末時)	1店舗の 売上(百万)
1	(株)エービーシー・マート	12・2	122,088	8.5	13,823	650	188
2	(株)チヨダ	12・2	110,314	△0.9	3,515	1,099	100
3	(株)ジーフィット(イオン系)	12・1	92,136	11.9	979	675	136
4	ヒラキ(株)(通販)	12・3	21,653	△3.4	△331	5	-
5	ダイアナ(株)	12・2	14,516	3.8	151	81	179
6	神戸レザークロス	11・9	14,253	△8.9	△248	135	106
7	(株)かねまつ	11・7	11,800	△6.3	-	70	169
8	東京靴(株)(島根)	12・8	10,382	3.5	185	37	281
9	(株)ニッカ(リーガル)	12・3	9,121	8.9	160	66	138
10	(株)アシックスリテール	12・3	8,200	26.3	-	89	92
11	(株)タケヤ(青梅)	12・1	8,000	△7.0	-	143	56
12	(株)つるや(松山)	12・2	7,927	1.9	383	93	85
13	(株)シューマート(長野)	12・1	7,818	3	15	35	223
14	(株)銀座ヨシノヤ	12・2	7,520	0.3	-	74	102
15	(株)ステップ(大阪)	11・8	7,200	2.9	-	63	114
16	(株)モード・エ・ジャコモ	12・7	6,744	6	180	63	107
17	(株)ワシントン靴店	12・2	5,256	△3.7	-	42	125
18	(株)ビルゲンシュトゥク	11・12	4,920	7.0	300	43	114
19	(株)おく田(岐阜)	12・2	4,565	5.1	66	24	190
20	(株)ピナ(渋谷)	12・2	4,071	7.0	49	38	107

ランキン予想、非公開企業/ アカクラ・ダブルエー・三中井・コモドー・尚美堂・テングヤ

1000億円の大台に乗るこ
とは確実視され、大手3社の
シェアは更に伸びそうだ。

前期1000億円台に乗せた
地域チェーン8位の東京靴(島
根)は当期も更に伸び、店舗も
1店増やしている。

12位のつるや(愛媛)も堅実
に売上を上げているが、靴の売
上は3割ほどで、バラエティス
トアでの売上の方が大きい。

FC店舗で展開する13位の
シューマート(長野)は、店舗数
は1店減っているが、売上を順
調に拡大しており、1店舗平
均2億円を超える実績だ。

16位のモード・エ・ジャコモ(渋
谷)は前期に大幅な店舗リス
トに取り組んだが、当期は2店
舗増やし、順調に伸ばしている。

19位のおく田(岐阜)は店舗
を8店舗減らしているが、売
上、利益とも上げて効率の良
い経営が進んだ。

〔靴卸〕

スポーツと紳士靴が 前期をクリア

靴卸の上位50社の合計売上
高は3800億円、前期比3.
1%増。前期を上回った企業は
27社、下回った企業は21社とい

う結果で、前年割れ企業は分
類中もつとも多かった。

上位10社で見ると前期比
6.6%増と50社の平均を大き
く上回り、上位の企業は順調
に伸びている。傾向としては、ス
ポーツと紳士靴系の卸は順調
だが、婦人靴系の卸は前年割
れが目立ち、革靴・ケミカル靴
ともにマイナスとなる企業が多
かった。

〔靴製造〕

売上横ばいで 大手も低調な伸び

靴製造の上位50社の合計売
上高は3400億円、前期比
0.1%増と横ばいで分類中最
も低い伸びとなった。上位10社
の合計は前期比0.5%減と50
社の平均を下回る結果となっ
た。上位にはアシックス、アキレ
ス、ムーンスター、アサヒ、広島化
成、弘進ゴムなどスポーツ、ゴム
靴メーカーが入る。3位のムー
ンスターは子供靴「スーパース
ター」の好調などハウスブランド
が売上をけん引した。伸び率の
トップは8位のマドラスで、25.
2%と2桁の伸びで90億円
台に乗せている。

(FW1月号より)

理事会だより

11月

平成二十四年十二月二十六日(月)
午後二時半、西村記念ホール

小堤会長から、中央支部松戸靴店社長松戸純二氏が秋の叙勲で藍綬褒章を授与され、協会として御祝を申し上げ、金一封を代理の松戸福治理事に差し上げた。松戸理事からお礼の挨拶があった。

川上副会長から本日の理事会の出席は29名で定数を満たしていることが報告され、会長が議事録署名名人に下谷支部・栗原茂常務理事、浅草支部・梶泰和理事両氏を指名し、議事に入る。

二、シューフィッター養成講座

(東京)結果に関して
小堤会長より、養成講座の報告があり、受講者は少なかつたが、靴小売業界以外の応募者が、毎回数人づつ応募してきており、我々もスキルアップにつとめる必要がある。また、12月13日の既得者勉強会への参加を要請した。

二、「靴まつり」の発送した

お買物券の扱いについて
田中副会長より、「靴まつり」の当選結果についての詳細報告があり、お買物券の取扱についてのスケジュールと注意事項の確認がなされた。

また、次の「靴の記念日」の内容については今年と同様の企画で公益性を高めて推進できるよう計画をしていると報告。
三、親和会総会について

川上副会長より、来年の2月20日(水)・21日(木)両日の親和会総会は昨年同様、箱根湯本の「南風荘」を推薦したいと提案があり承認された。

四、教育研修委員会

シューフィッター委員会

広報委員会の報告について

矢代副会長より、(社)東靴協会として運営しているシューフィッター養成講座について、教育・研修委員会委員長としての立場から昨今の実情と近い将来の状況予測とに鑑み、外部(足と靴と健康協議会・FHA)に委託する方法を検討すべき時が来ている。

小堤会長からもシューフィッター委員会での検討内容が説明され、常務会でも賛同を得ているので来月にFHAとシューフィッター委員会メンバーとで話し合いを始めた旨提案があり、承認された。

理事会だより

12月

平成二十四年十二月十日(月)
午後二時半、西村記念ホール

小堤会長から「この暮れの衆院選、都知事選の影響があるのか市場は段と冷え込んでいます。うだ。」と挨拶。

川上副会長から本日の理事会の出席は30名で定数を満たしていることが報告された。小堤会長からの指名で議事録署名名人に中央支部・松戸福治理事、練馬支部・藤田正理事両氏を選出し、議事に入る。

一、平成25年度生命共済について
東時の小宮氏、三井住友海上あいおい生命保険の営業推進部団体保険グループ推進役・遠藤氏、同東京企業第二営業部中村氏より、来年度の募集要項と企業数に減少、会員の高齢化等による制度維持が非常に厳しい状況が続いている。今回も皆さんのご協力でなんとか定数をオーバーしているが、日常的に共済会員の増強に努めてもらいたい旨要請があった。

二、シューフィッター

既得者勉強会について
小堤会長より、12月13日の勉強会(「革靴の基礎知識」・バックワーク・鈴木信行講師)にはすでに30名ほどの受講希望があるが、まだ受入可能なのでお声をかけて欲しいと要請した。

三、親和会総会について

川上副会長より、親和会総会の要領が手元に配布してあるが、今週中に往復はがきでご案内します。親和会会員以外の方も誘い合わせて参加下さるよう要請した。

四、日本靴小売商連盟

総会について

小堤会長より、在京役員会を1月23日に、総会を1月29日に開催の案が示された。

また、清水、井本両監事より今期限りで退任したい旨申し出があった。さらに、新津市製靴同業組合伊沢理事も今期で退会との連絡がきている。との報告があった。

協会の若手、梶泰和理事はじめ数名に内諾を得ており在京役員会で推薦したい旨を述べ、承諾された。

東京都中小企業景況調査 {11月}

業 況：横ばいで様子を伺う
見通し：2か月連続で上向く

卸売業			業 況				
対象数	回答数	回答率	11 月		今後3か月間見通し(当月比)		
			悪い	良い	悪い	良い	
875	315	36.0%	-100	0	100	-100	0
衣料・身の回り品	1. 男子服						
	2. 婦人・子供服						
	3. 靴・履物						
	4. かばん・袋物						
	5. 装身具・身の回り品						

小売業			業 況				
対象数	回答数	回答率	11 月		今後3か月間見通し(当月比)		
			悪い	良い	悪い	良い	
875	247	28.2%	-100	0	100	-100	0
衣料・身の回り品	1. 呉服・服地・寝具						
	2. 男子服						
	3. 婦人服						
	4. 子供服						
	5. 靴・履物						
	6. かばん・袋物						
	7. 雑貨・身の回り品						
	8. 時計・眼鏡						
	9. ジュエリー・製品						

東京都中小企業景況調査 {10月}

業 況：悪化傾向の中でやや戻す
見通し：7か月ぶりに持ち直す

卸売業			業 況				
対象数	回答数	回答率	10 月		今後3か月間見通し(当月比)		
			悪い	良い	悪い	良い	
875	353	40.3%	-100	0	100	-100	0
衣料・身の回り品	1. 男子服						
	2. 婦人・子供服						
	3. 靴・履物						
	4. かばん・袋物						
	5. 装身具・身の回り品						

小売業			業 況				
対象数	回答数	回答率	10 月		今後3か月間見通し(当月比)		
			悪い	良い	悪い	良い	
875	280	32.0%	-100	0	100	-100	0
衣料・身の回り品	1. 呉服・服地・寝具						
	2. 男子服						
	3. 婦人服						
	4. 子供服						
	5. 靴・履物						
	6. かばん・袋物						
	7. 雑貨・身の回り品						
	8. 時計・眼鏡						
	9. ジュエリー・製品						

景況についてのアンケート結果

(対象月…24年)		11月	12月)
▶ 全体的な業況			
良	い	10.0%	18.2%
悪	い	60.0%	27.2%
変	わ	30.0%	54.6%
▶ 売上げ			
前月比	増えた	10.0%	45.4%
	減った	50.0%	18.2%
	同 じ	40.0%	36.4%
前年同月比	増えた	10.0%	27.2%
	減った	60.0%	36.4%
	同 じ	30.0%	36.4%
▶ 販売価格は前月比			
騰貴した		10.0%	9.0%
下落した		0.0%	36.4%
同 じ		90.0%	54.6%
▶ 販売経費は前月比			
増えた		0.0%	63.6%
減った		10.0%	18.2%
同 じ		90.0%	18.2%